

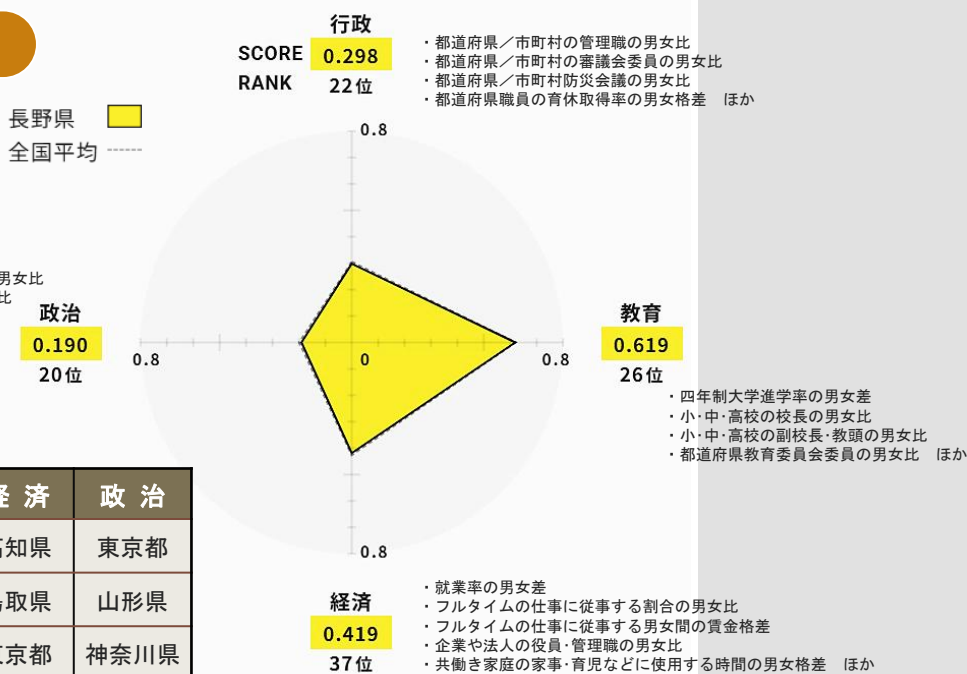
あなたのまちの男女平等度は？「地域からジェンダー平等研究会」による

都道府県版 ジェンダー・ギャップ指数

世界経済フォーラムが公表する男女平等度の指標「ジェンダー・ギャップ指数」で、日本は世界最低レベルに低迷しています。では、**都道府県別ではどうなのでしょう？** 各地域の男女平等の度合いを可視化するため、世界経済フォーラムに準じた手法で統計処理したのがこの指数です。順位付けが目的ではなく、どの分野に男女格差が残るのかを知ること、**足元の強みと課題を認識し、地域から日本のジェンダー平等を実現するのが狙い**です。

各項目で**男女の人数（割合）が完全に同じであれば指数は1**になり、男性ばかりで**女性が1人もいないと指数は0**となります。
（「地域からジェンダー平等研究会」ホームページより）

長野県は



	行政	教育	経済	政治
1位	鳥取県	徳島県	高知県	東京都
2位	福井県	富山県	鳥取県	山形県
3位	滋賀県	高知県	東京都	神奈川県

長野県の強みと課題

県の審議会の女性委員は4割近くを占め、県の委員会でも女性委員が多くなっています。県庁の男性職員の育休取得率も伸びていますが、行政分野は全国的に改善が進んでいるため 2024年と同じ22位でした。県教育委員会の委員は女性の数が男性を上回り、県教委事務局の管理職も女性が多めですが、女性の四年制大学進学率が伸び悩んだことが影響し、教育分野の順位は下がりました。県議会と市町村議会で女性議員が一定数を維持しているのは強みです。県は人口減少対策の柱としてジェンダー平等を掲げており、今後の取り組みが期待されます。

（「地域からジェンダー平等研究会」ホームページより）

